

新市場進出等支援事業

平成30年度予算額 **4.3億円（新規）**

事業の内容

事業目的・概要

- ロシアとの経済協力関係を深化させることは、資源確保・エネルギー安全保障等の観点から重要であるだけでなく、中堅・中小企業等による新市場の開拓に大いに寄与します。
- 2016年5月の日露首脳会談で、安倍総理が、ロシアの生活環境大国、産業・経済の革新のための協力プランを提示しました。
- 同プランの「(5) ロシアの産業多様化・生産性向上」を具体化するため、①高い技術力や生産性管理技術を備えた日本の専門家によるロシア企業の生産性診断及び改善指導、②ロシアの裾野産業をはじめとした製造業等に従事するラインマネージャークラスや役員クラスの人材を中心に日本に招聘し、生産工場の現場視察や日本の管理技術・設備、IT化に関する研修等を行います。

成果目標

- これら事業により、日本の最先端設備をロシア企業に導入することを目指すとともに、ロシア企業の生産性向上により、ロシアに進出している日系企業の部品等の調達条件が改善され、ひいては日系企業の市場シェア拡大につながることが期待されます。
- その結果、日露貿易・投資関係が拡大し、平成32年までに日露貿易・投資総額350億ドル、ロシアへの進出企業数（モスクワジャパンクラブ法人会員数）200社を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

①生産性診断事業

我が国専門家

(派遣)



ロシア企業

生産現場等の生産性を診断
(生産ライン最適化、IT化、在庫管理、4S、最先端の機械設備の導入提案等)

②人材育成事業

ロシア企業（裾野産業等製造業）
ラインマネージャー、役員クラス

(招聘)



日本企業等

日本のものづくり現場視察、管理技術・設備、IT化に関する実地研修



- ・ 我が国の最先端の機械設備の導入
- ・ ロシア企業の生産性向上による、ロシア進出日系企業の現地調達率の改善
- ・ 日本企業のロシア市場での競争力の強化を通じたシェアの拡大等の効果が期待されます。